

フィンランド語文法：上級⑧

時相構文 (2) ・ e不定詞 (第2不定詞) 具格

「フィンランド語との対話—吉田欣吾」

<https://yoshidakingo.com/>



受動の e不定詞内格

A不定詞	受動現在	受動過去	受動 e不定詞内格
tietää	tiedetään	tiedettiin	tiedettäessä

juoda	juodaan	juotiin	juotaessa
-------	---------	---------	-----------

olla	ollaan	oltiin	oltaessa
------	--------	--------	----------

● 受動過去の最後の

-iin ⇒ -Aessa

で受動の e不定詞内格。

(A=a, ä, U=u, y, O=o, ö)



受動 e不定詞内格を使う時相構文

- Sähköpostia **lähetettäessä** painetaan Lähetä-kuvaketta.
= Kun lähetetään sähköpostia, painetaan Lähetä-kuvaketta.
電子メールを送るときは「送信」ボタンを押す。
- フィンランド語の受動形に主語はないので、主語に相当する名詞を属格でつけることはない。
- 「～しよう」という意味の場合を除いて、受動形の前には何らかの語を置く傾向がある。



受動の e不定詞内格の例文

●Makkaraa **syötäessä** juotiin olutta.

= Kun syötiin makkaraa, juotiin olutta.

ソーセージを食べるときビールを飲んだ。

●2000-luvulle **tultaessa** Suomi oli ollut jo tietoyhteiskunta.

= Kun tultiin 2000-luvulle, Suomi oli ollut jo tietoyhteiskunta.

2000年代に入るとき、フィンランドはすでに情報社会となっていた。



受動 e不定詞内格一練習

- 時相構文に直す。

Kun grillataan vihanneksia, grilli ei saa olla liian kuuma.

野菜をグリルするときには、グリルは熱すぎてはいけない。

Ilma harvenee, kun mennään ylöspäin.

上の方へ行くと空気は薄くなる。

Kun puhutaan ihmisestä, käytetään vain pronominia "joka".

人間について話をするときには、（関係）代名詞 joka だけを使う。

Mikä on tärkeää, kun ostetaan autoa?

自動車を買うときには何が重要か。



受動 e不定詞内格—練習解答

●時相構文に直す。

Vihanneksia grillattaessa grilli ei saa olla liian kuuma.

野菜をグリルするときにはグリルはあまり熱すぎてはいけない。

Ilma harvenee **ylöspäin mentäessä**.

上の方へ行くと空気は薄くなる。

Ihmisestä puhuttaessa käytetään vain pronominia joka.

人間について話をするときには、（関係）代名詞 joka だけを使う。

Mikä on tärkeää **autoa ostettaessa**?

自動車を買うときには何が重要か。



e不定詞具格

- e不定詞には具格の形もある。e不定詞具格は「...しながら」「...することにより」といった意味。
- A不定詞（＝第1不定詞）の最後の-Aを-enに変えれば e不定詞具格が得られる。
 - kirjoittaa > kirjoittaen 「書きながら」
 - mennä > mennen 「行きながら、行くときに」
- -en の前で e は i に変わる。
 - lukea > lukien 「読みながら」



e不定詞具格の例文

- Tyttö tuli **itkien** kotiin.

少女は泣きながら家に帰ってきた。

- Vietämme joulua **syöden ja juoden**.

我々は食べたり飲んだりしながらクリスマスを過ごす。

- Elän elämästä **nauttien**.

私は人生を楽しみながら生きている。



e不定詞具格を含む表現

● e不定詞具格を含む慣用表現も多い。

kaikkien **kuullen**

皆が聞いている中で

muiden **nähden**

ほかの人々の見ている中で

siitä **lähtien** それ以来

alun **pitäen** はじめから

suoraan **sanoen** 率直に言えば

toisin **sanoen** 別の言い方をすれば

totta **puhuen** 本当のことを言うと

mennen **tullen** 行きも帰りも

näin **ollen** こういふことなので

yllättäen 突然に、予期せず

kaikesta **päättäen/päätellen**

すべてのことから判断すると



e不定詞具格—練習

- () 内の語を e不定詞具格に直す。

Pekka istui kotona (katsella) televisiota.

ペッカはテレビを見ながら家で座っている。

Bussiin on noustava (varoa).

バスには注意をして乗らなければならない。

Tein tämän (ajatella) sinun parastasi.

私はあなたの最善を考えてこれをした。

Tyttö tuli sisään (hymyllä) iloisesti.

娘は明るく微笑みながら中へ入ってきた。



e不定詞具格—練習解答

- () 内の語を e不定詞具格に直す。

Pekka istui kotona (**katsellen**) televisiota.

ペッカはテレビを見ながら家で座っている。

Bussiin on noustava (**varoen**).

バスには注意をして乗らなければならない。

Tein tämän (**ajatellen**) sinun parastasi.

私はあなたの最善を考えてこれをした。

Tyttö tuli sisään (**hymyillen**) iloisesti.

娘は明るく微笑みながら中へ入ってきた。

